

高槻名誉市民を

15号

語り継ぐ会会報

平成27年7月1日

盛夏の候、時下益々ご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は当会の活動に大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

草花の開花に合わせてカエルの合掌が始まるこの時期、天候は不順ですが会員の皆さまに置かれましては如何お過ごしでしょうか。

今年度は、名誉市民の称号を授与されました方々が、その生涯を通して日本及び高槻に残されたものは何だったのかを学ぶ事を中心に活動をしています。6回連続の講座を3本予定しており、7月からはよいよ第2弾の高碓達之助編に突入します。皆様と一緒に学び、語り継いでいきたいと思っております。

今後トークリレー、展示会や出前事業を通して、皆様に名誉市民への興味を持って頂ける会運営を目指しております。皆様のご意見をお伺いしながら、高槻の誇りをより一層盛り上げたいと思っておりますので、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。



高槻市マスコットキャラクター『はにたん』

【名誉市民を考える会】

6月22日の第6回講演をもって、磯村彌右衛門編が完了しました。6回に渡り、生い立ちから高槻名誉市民としてその一生を終えられるまでの業績を学ぶことが出来ました。学び終わると思うのは、政治家としてあるべき姿は磯村彌右衛門の生き様そのものではないかと言う事です。住民の生活を守る為、地方自治にその一生を捧げた姿には自然と頭が下がります。近代高槻の礎を築いた磯村彌右衛門を通じて、政治家の有り方を改めて考え直す良い切っ掛けとなったと思います。皆様も、高槻の町中を散策しながら彌右衛門の功績に思いを馳せてみませんか。最後になりますが、この紙面を借りて6回にわたり講演をして頂いた宇津木先生に御礼申し上げますと共に、次回からの高碓達之助編も宜しく願い申し上げます。



【高槻自慢トークリレー】

6月25日第4回高槻自慢トークリレーを開催しました。今回は『高槻でも“エスペラント”は生き続け』と題して、高槻エスペラント会会長の浮田政治さんに、「エスペラント」を使った国境を越えての市民交流を語って頂きました。エスペラント語は1887年にポーランドの眼科医により発表された「国際語」です。その背景には人種の違いによる諍いが有りました。言葉の違いによる諍いを無くすための共通語として作られたのが「エスペラント」です。ベースはラテン語から出来ているみたいで、聞くと確かにラテン語のニュアンスが覗われます。発表された当時は産業革命が広まった時代で、共通語が求められていました。そんな時代要請に合った「エスペラント」は、ヨーロッパで広がり始め、1905年にはフランスで世界大会が開かれ、2007年には横浜で開催されました。エスペラントには「人類主義」と呼ばれる思想が有ります。「強制的なものではないが、全ての人間が兄弟のように愛し合い、対等な立場で生ることを目指す思想」です。言語の国際化では英語に押されていますが、言葉の底に流れる基本思想は、今に時代に求められているのではないのでしょうか。



速報！！

【名誉市民を考える会

—高碓達之助編】

7月13日より高碓達之助編が始まります。初回は東洋製罐 HD の社長さんより高碓達之助を語って頂きます。

7/13より9/28迄の6回講座です。☆詳細はブログ・FB をご覧ください。

【名言集】

『競争者が多いことはいいこと』

競争者が多くいることはいいことだ。自分がどんなに勉強しているか本当に批評してくれるのは、競争者以外にはない。

(高槻名誉市民 高碓達之助談)

発行：高槻名誉市民を語り継ぐ会
ブログ

<http://blog.livedoor.jp/takatsukimeiy05/>

FB

<https://www.facebook.com/groups/167866516706202/>